

『時事直言』 No.1686 2024年7月26日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] t_masuda2019/

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] t_masuda2019/



時事評論家 増田俊男

北京宣言(7月23日)

パレスチナ主流派ファタハを中心としたハマスを含む 14 勢力が北京に集結、暫定的に「パレスチナ国民和解政府」の設立同意が「北京宣言」として発表された。

中国は 2023 年サウジアラビアとイラン国交正常化仲介に続き今回の「北京宣言」は中国が目指す米主導の一極体制から多極化転換へのワンステップである。

第一段階として、ガザ地区における即時停戦、第二段階として、パレスチナ人によるパレスチナ統治と言う大原則の下に「国民的合意政府」(暫定政府)を樹立。

第三段階として、パレスチナ政府を正式な国連加盟国とし、イスラエルと和平合意はイスラエルがパレスチナ政府を独立国として承認することを前提とした「二国家解決」とする。

パレスチナ和平協議の参加国は、パレスチナ主要 14 派閥の代表の他に、エジプト、アルジェリア、サウジアラビア、カタール、ヨルダン、シリア、レバノン、ロシア、トルコの特使が参加した。

翌日 7 月 24 日にはウクライナの外相が訪中、王毅外相と会談した。

ウクライナ外相は「中国はウクライナと戦略的パートナーシップ協定(中国ウクライナ友好協力協定-対ウクライナ核脅威から中国は安全を保障する)を結んでいる世界で唯一の国であるとして、ウクライナは中国主導の和平案に基づきロシアと話し合う用意があると述べた。

冗談とは言え、「俺が大統領になったらウクライナには 1 ドルたりとも援助しない」などと言うランプが次期大統領になった場合のことを考えてウクライナは中国に布石を打ったことになる。

ウクライナは、ロシアの経済も軍事力も大きく中国に依存していることからプーチンに発言力があるのは世界で習近平だけであることを知っている。

さらにウクライナが隣国ベラルーシに設置されたロシアの戦略核基地からの核の脅威にさらされれば、頼れるのはアメリカ、欧州ではなく中国だけである。

資本主義の大原則-Scrap and build から見れば、ウクライナ戦もイスラエル・ハマス戦争も Scrap(破壊)によるインフラ復興需要(build)の創造である。

ウクライナ戦争もイスラエル・ハマス戦争も、徐々に中国の手の平に乗せられて、気が付いてみたらトンビ(中国)に油揚げ(復興需要)を取られることになるのでは。

大好評配信中！増田俊男の「インターネット目からウロコの増田塾」

いつでも繰り返し何度でも視聴可能！

皆様からのご要望にお答えし、「株式指南」を継続的に配信するコンテンツをスタートします。是非、この機会にお申し込みください。

【配信予定内容】○損をさせない「早朝株式指南」○本日の世界政治・経済情勢の裏(真実)
★いつでも繰り返し何度でも視聴可能。ご視聴方法：PC・スマートフォン・タブレット ※Youtubeの視聴環境が必要となります。詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313、HP : <http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。

